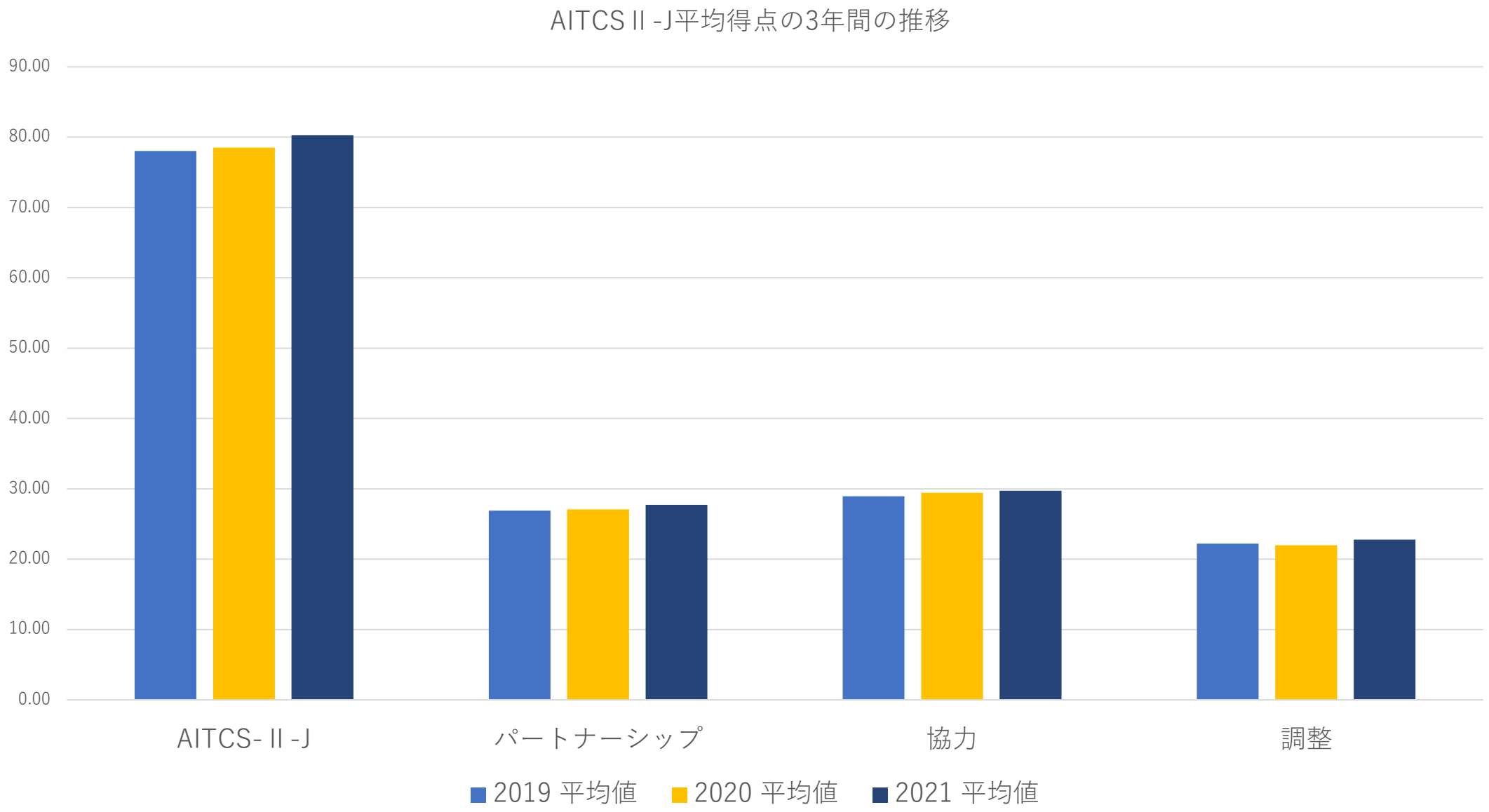
富士宮市立病院
３か年の推移

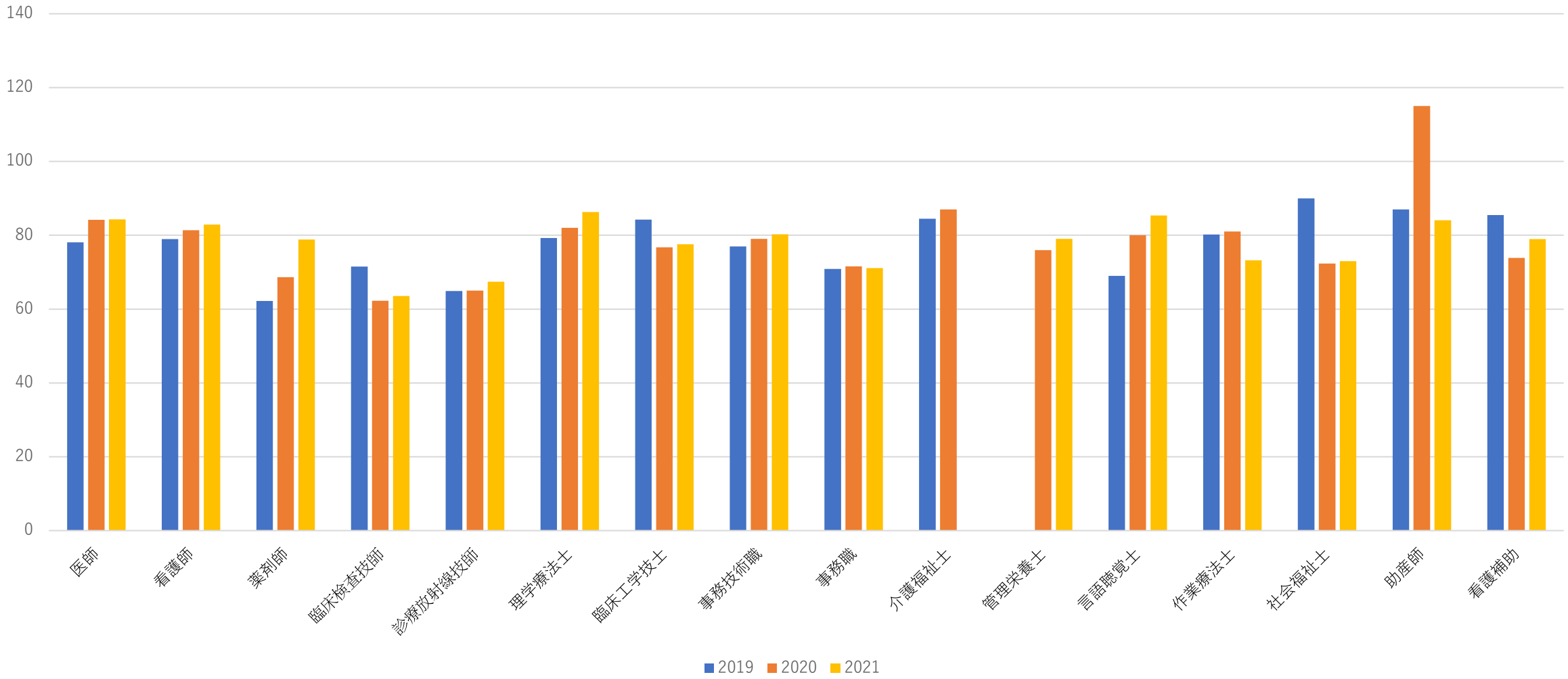
多職種協働チームのヘルスケアサービスの質に対するインパクトの国際的実証研究（研究課題/領域番号19K10491）

研究代表者　松下博宣

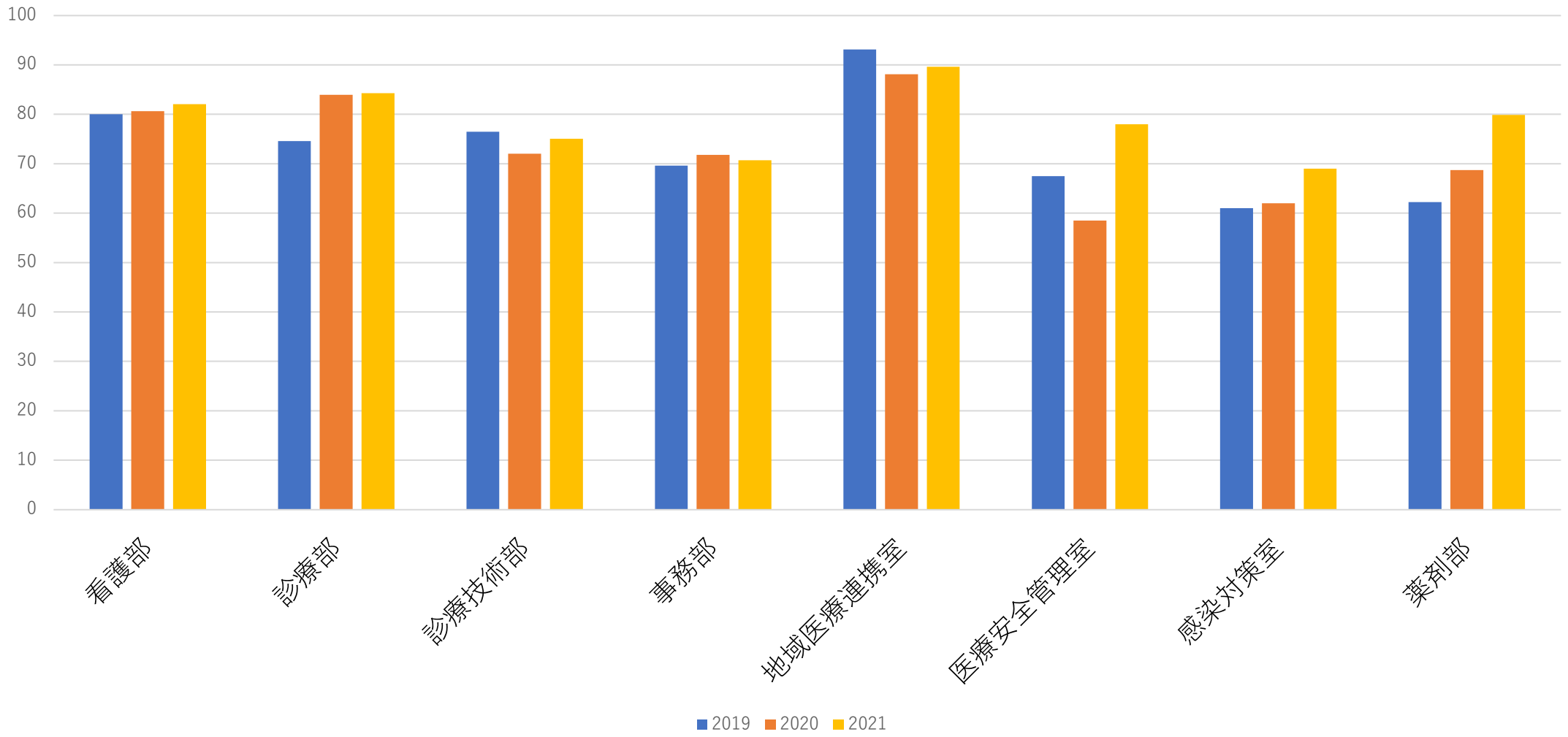

AITCS II -J平均得点の3年間の推移
90.00
80.00
70.00
60.00
50.00
40.00
30.00
20.00
10.00
0.00
AITCS- II -J
パートナーシップ
協力
調整
2019 平均値
2020 平均値
2021 平均値

すべて有意差なし

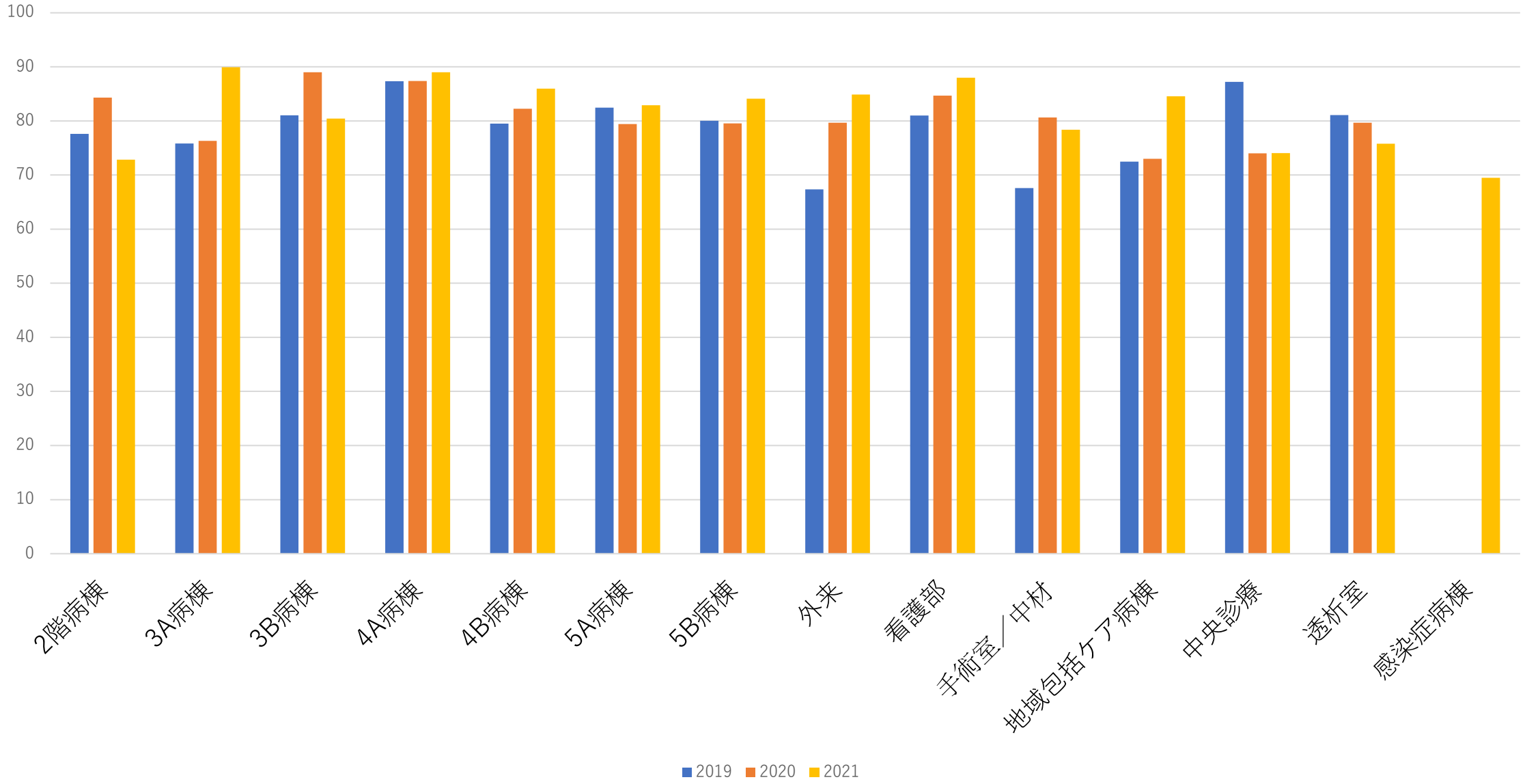
職種別AITCS- II -J平均点の3年間の比較



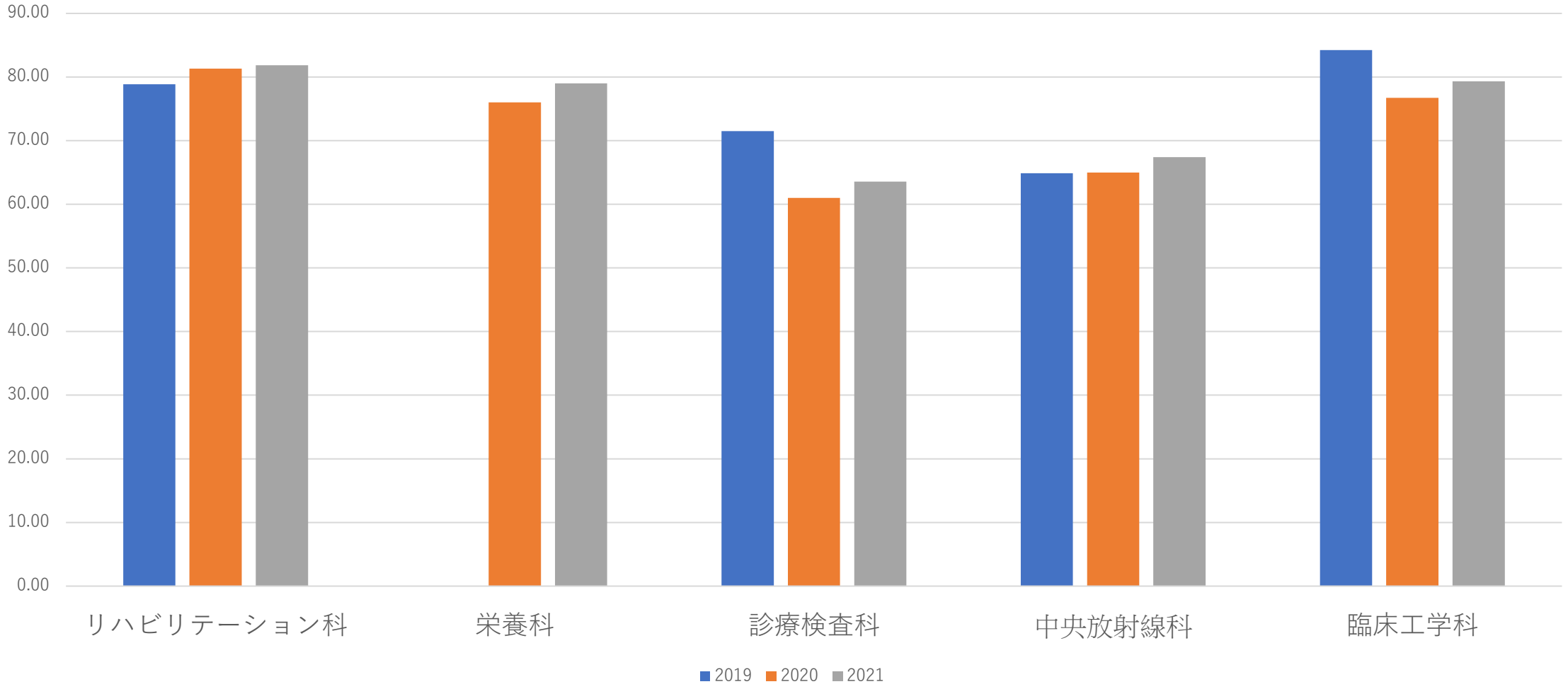
部門別AITCS-Ⅱ-J平均点の3年間の比較



看護部部署別AITCS-Ⅱ-J平均点の3年間の比較



診療技術部部署別AITCS- II -J平均点の3年間の比較



可視化ツールで成功に導く！

多職種連携を推進するコラボレーション大全

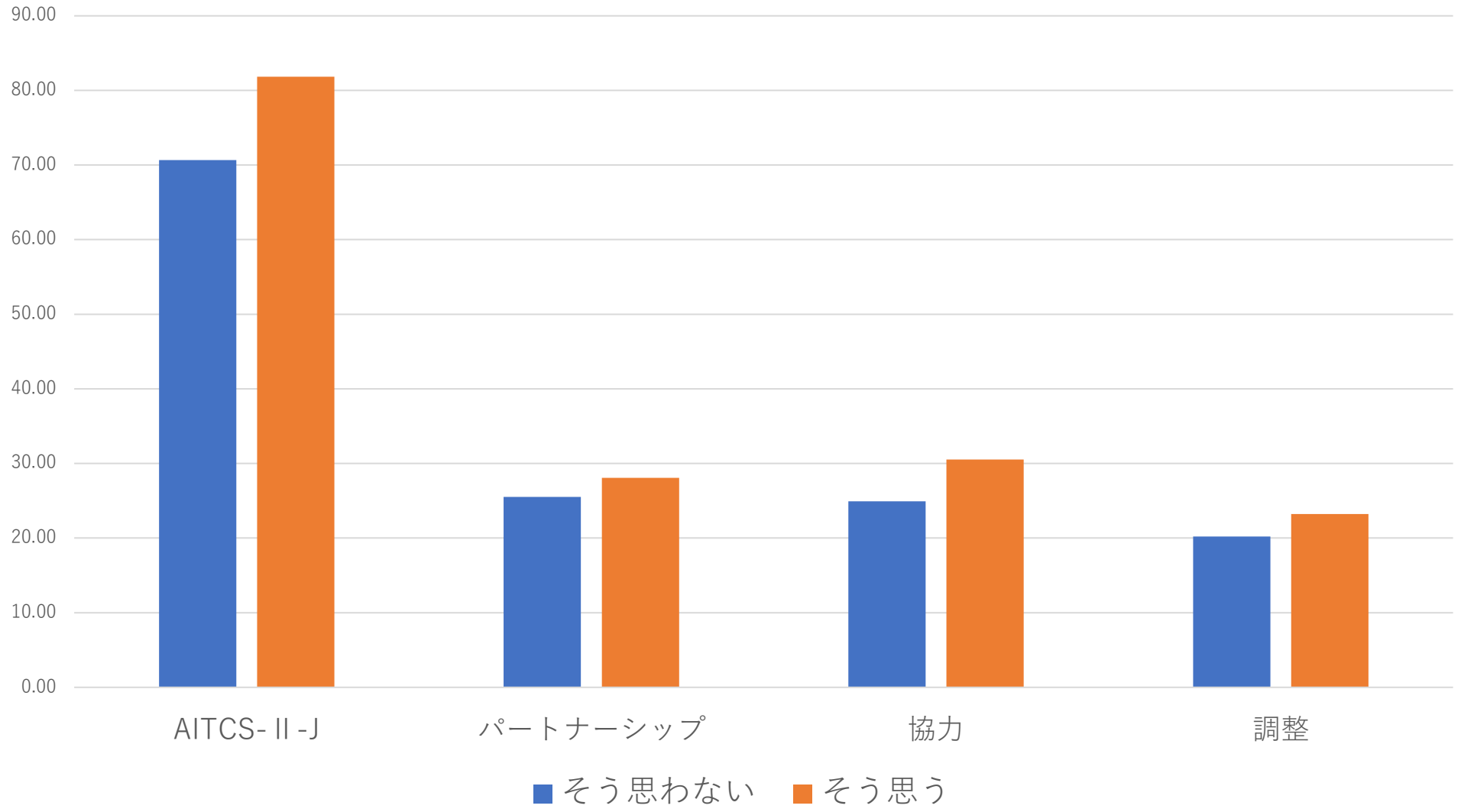
松下博宣
東京情報大学
看護学部 教授

職種間・部署間の壁を打ち砕く！
スムーズな連携を実現するアプローチ

日総研

「⓪. 私が所属する、または最も接点があるチームはうまく仕事をこなしていると思う」

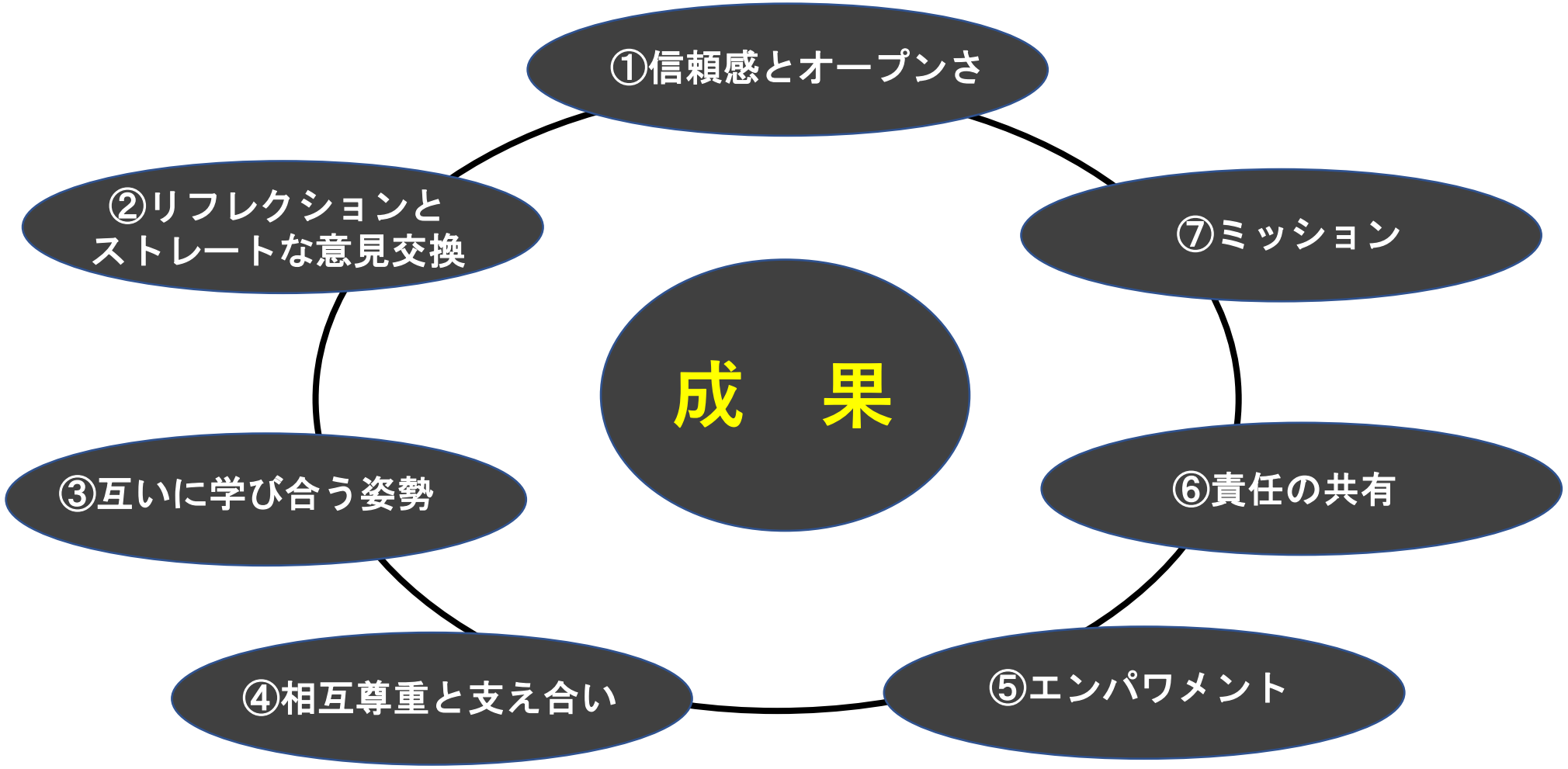
すべて有意差ありp<.01



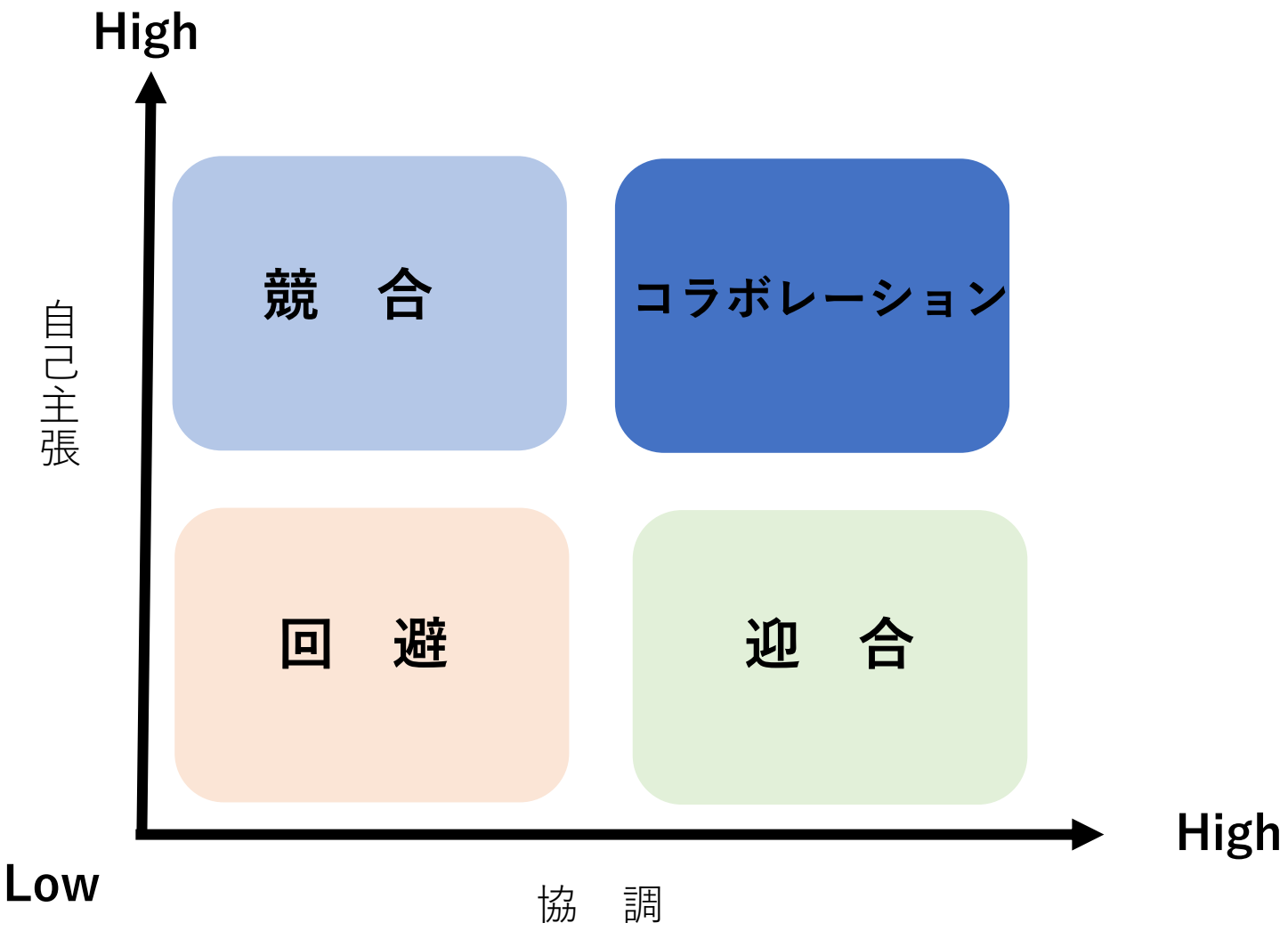
	⓪. 私が所属する、または最も接点があるチームはうまく仕事をこなしていると思う。									
	そう思わない（n=53）			そう思う(n=332)			差の検定			
	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	t 値	自由度	有意確率（両側）	
1.患者目標を設定するときは患者を巻き込んでいる。	3.09	1.043	0.143	3.42	0.881	0.048	-2.424	383	0.016	*
2.私が所属するチームはケアプロセスを決めるときに患者の要望に耳を傾けている。	3.30	0.932	0.128	3.61	0.901	0.049	-2.311	383	0.021	*
3.常時患者ケアについてミーティングを行い話し合いをしている。	3.32	1.156	0.159	3.79	0.993	0.054	-3.120	384	0.002	**
4.患者ニードに基づいて、健康やソーシャルサービス（家計、仕事、住まい、地域とのつながり、スピリチュアル）に関わる調整をしている。	3.26	0.984	0.135	3.54	0.956	0.052	-1.959	383	0.051	
5.患者ケアについて話し合うためにチームメンバーとは首尾一貫したコミュニケーションをしている。	3.21	0.927	0.127	3.64	0.944	0.052	-3.133	385	0.002	**
6.患者個々のケア目標設定に関わっている。	3.06	1.027	0.141	3.47	1.094	0.060	-2.605	384	0.010	**
7.治療計画、ケアプラン等を立てるときは、多職種の知識やスキルを活用するために、多職種のメンバー、患者、家族に働きかけている。	3.21	0.988	0.136	3.49	0.924	0.051	-2.066	384	0.039	*
8.治療計画、ケアプラン等を調整するときには、患者や家族と一緒になって行う。	3.08	0.978	0.134	3.33	0.980	0.054	-1.731	382	0.084	
9.チーム内では皆が力を出し合って協力している。	3.26	0.788	0.108	4.13	0.790	0.043	-7.431	386	0.000	**
10.お互いが尊敬しあい信頼している。	3.08	1.053	0.145	3.87	0.860	0.047	-6.035	385	0.000	**
11.皆オープンで親切だ。	3.00	1.000	0.137	3.82	0.942	0.051	-5.865	386	0.000	**
12.振り返りと改善によってチームの機能に変化を加えている。	3.17	0.893	0.123	3.77	0.894	0.049	-4.567	386	0.000	**
13.異なる意見が出るときは、お互いが満足のゆく解決ができるよう努力している。	3.06	0.989	0.136	3.69	0.854	0.047	-4.928	386	0.000	**
14.お互いができることとできないことを理解している。	3.19	1.001	0.138	3.72	0.854	0.047	-4.102	386	0.000	**
15.チーム内で知識とスキルが共有されていることを理解している。	3.19	0.982	0.135	3.75	0.814	0.044	-4.497	386	0.000	**
16.チームメンバーの間には信頼感ができあがっている。	2.98	1.009	0.139	3.80	0.835	0.046	-6.407	385	0.000	**
17.職場には多職種協力（チーム医療）について独自の取り決めがある。	2.77	0.891	0.122	3.35	0.924	0.051	-4.263	385	0.000	**
18.チーム内では、メンバーによって合意された目標が公平に分担されている。	2.94	0.691	0.095	3.50	0.872	0.048	-5.267	80.830	0.000	**
19.チームミーティングでは、患者・家族を含めてオープンにコミュニケーションをとることが奨励され支持されている。	3.04	0.839	0.116	3.37	0.960	0.052	-2.598	73.379	0.011	*
20.対立や衝突を解決するためにあらかじめ決められた手順を活用している。	2.92	0.756	0.104	3.30	0.892	0.049	-3.275	77.005	0.002	**
21.変化する患者のニーズに応じてメンバーはチームリーダーをサポートしている。	3.26	0.763	0.105	3.59	0.878	0.048	-2.789	75.817	0.007	**
22.皆が一緒になってチームリーダーを選んでいる。	2.62	0.837	0.115	3.18	1.064	0.059	-3.628	381	0.000	**
23.チームミーティングに患者を含めることをオープンにサポートしている。	2.70	0.890	0.122	3.11	1.082	0.060	-2.606	381	0.010	**

* p<.05　** p<.01

良いチームの7つの特徴



協調と自己主張とコラボレーション



Thank you !

〒265-8501千葉市若葉区御成台4-1
東京情報大学　医療管理学教授　松下博宣
医療管理学研究室
sparklingmetal@gmail.com

©All rights reserved Hironobu Matsushita 2021
不許可禁転載